

## 生物多様性とちぎ戦略の進捗状況について（概要）

平成 27 年 9 月 15 日  
環境森林部自然環境課

栃木県における豊かな生物多様性を保全し、将来にわたって持続的に利用していくため、平成 22 年 9 月に「生物多様性とちぎ戦略」を策定し、県民をはじめとした様々な主体との協働による取組を推進していくこととしている。

この戦略において、平成 27 年度までの 5 年間で取り組む重点プロジェクトに位置づけている重要かつ緊急性のある取組について、平成 26 年度の状況を公表する。

### 1 指標項目の状況

生物多様性とちぎ戦略では、平成 27 年度までの数値目標として、重点プロジェクトごとに計 10 の指標を設定した。平成 26 年度の達成状況を見ると、一部の指標項目を除いては各指標項目において、指標値の増加傾向が見られることから、全体的には概ね順調に進んでいると判断できる。

#### (1) 里地里山保全再生プロジェクト

| 指標項目                  | 基準年 |   | 現 況 |   |     | 目 標 |     |    |
|-----------------------|-----|---|-----|---|-----|-----|-----|----|
| ①とちぎ里山林モデル地区数（箇所）     | H21 | 0 | H25 | 6 | H26 | 6   | H27 | 5  |
| ②地域ぐるみでの獣害対策取組地区数（箇所） | H21 | 0 | H25 | 8 | H26 | 8   | H27 | 10 |

#### (2) 河川・湿地保全再生プロジェクト

| 指標項目             | 基準年 |    | 現 況 |    |     | 目 標 |     |     |
|------------------|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| ③外来種駆除活動数（箇所）    | H21 | 5  | H25 | 8  | H26 | 9   | H27 | 10  |
| ④人工産卵場の設置箇所数（箇所） | H21 | 80 | H25 | 67 | H26 | 66  | H27 | 160 |

#### (3) 野生動植物保全プロジェクト

| 指標項目                | 基準年 |    | 現 況 |    |     | 目 標 |     |    |
|---------------------|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| ⑤自然環境保全地域指定数（箇所）    | H21 | 26 | H25 | 27 | H26 | 28  | H27 | 29 |
| ⑥生態系維持回復事業実施箇所数（箇所） | H21 | 0  | H25 | 1  | H26 | 2   | H27 | 2  |

#### (4) 生物多様性を支える人づくりプロジェクト

| 指標項目                | 基準年 |        | 現 況 |        |     | 目 標    |     |        |
|---------------------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| ⑦自然保護活動ボランティア数（人）   | H21 | 14,045 | H25 | 19,570 | H26 | 21,516 | H27 | 20,000 |
| ⑧生物多様性アドバイザー登録者数（人） | H21 | 0      | H25 | 180    | H26 | 197    | H27 | 250    |

#### (5) 企業・大学との連携プロジェクト

| 指標項目                  | 基準年 |   | 現 況 |       |     | 目 標   |     |       |
|-----------------------|-----|---|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| ⑨「いきものつながり調査会」報告数（報告） | H21 | 0 | H25 | 1,123 | H26 | 1,171 | H27 | 1,000 |
| ⑩野生鳥獣管理技術者の養成者数（人）    | H21 | 0 | H25 | 73    | H26 | 101   | H27 | 100   |

## 2 各重点プロジェクトにおける主な取組の状況

### (1) 里地里山保全再生プロジェクト

とちぎ里山林モデル地区の6箇所において、里山林の生物多様性の保全再生を図るため、多様な生き物の生息・生育環境の創出等を目的とした維持管理（とちぎの元気な森づくり県民税事業：生物多様性モデル林事業）を実施した。

また、地域ぐるみでの獣害対策として、新たに8地区のモデル集落を指定し、鳥獣管理士と連携して住民学習会や刈払いを実施した。

（その他の取組）エコ農業とちぎの展開、那須平成の森における体験交流型観光の実施、生態系配慮型工法の効果検証など

### (2) 河川・湿地保全再生プロジェクト

県内9箇所において、地域住民等との協働による外来種（セイタカアワダチソウ等）の駆除活動により、貴重な在来種の保全を図った。

また、県内河川の66箇所において、ニッコウイワナ等の産卵に適した河床に礫を浮き石状に敷き、人工的に産卵場を設置した。

（その他の取組）井戸湿原における貴重湿生植物保全のための獣害対策



### (3) 野生動植物保全プロジェクト

シモツケコウホネの生育地である那須烏山市下川井地区について、自然環境保全地域の新規指定を行い、次の候補地である日光市小代地区（シモツケコウホネ等）において、指定内容の検討等準備を進めた。

また、前日光県立自然公園内井戸湿原における移入してきた植物の除去、シカやイノシシ等の防除対策、湿地乾燥化対策など、生態系を維持・回復するための取組を支援した。

（その他の取組）日光杉並木街道の保全、ミヤコタナゴの系統保存



### (4) 生物多様性を支える人づくりプロジェクト

森林ボランティア、パークボランティアなど様々な分野で、延べ21,516人が自主的に地域の自然保護活動に参加した。

また、県民や企業等が行う保全活動への助言等を行う人材を栃木県生物多様性アドバイザーとして17人を養成・登録し、これまでに登録された生物多様性アドバイザーは、自然体験活動での自然解説や森林環境学習の講師などで活動した。

（その他の取組）「森の楽校」の開催、生物多様性とちぎアクションリストの活用、「エコ・もり地域推進協議会」による普及啓発活動など

### (5) 企業・大学との連携プロジェクト

企業からの寄付を活用した参加者普及啓発型自然観察会を4回開催し、参加者から48件のいきもの情報の報告を受けた。

また、宇都宮大学と連携して、野生鳥獣管理対策の指導者となる28人の人材を養成し、その人材のフォローアップと活用を図った。

（その他の取組）地域住民等と連携した保全活動の実施



## 3 今後の対応

県民や保全活動団体、事業者などの各主体と連携・協働して多様な取組を実施していくとともに、生物多様性に関する普及啓発、各主体間のネットワークの構築やコーディネートなど各主体間の連携・協働を支援していくことにより、生物多様性とちぎ戦略に基づく各種取組の積極的な推進と指標項目の目標達成に努める。